



臨嶺会会報

第35号

2014年春発行

目次

特集

前号(第34号)近況報告より	2~3	最近の検査	21
「キラッ」「ほんわか」		「新生児の先天性代謝異常等検査」	
臨嶺会会員の近況報告	4~17	松本便り	22
退職 川上由行先生	18~19	卒業生の進路	23
こじ記	19	事務局からのおしらせ	23
カミングホーム	20	2013年のできごと	24
卒後40年 衛検6回生		編集後記	24
卒後30年 短大7回生			

特集 前号(第34号)近況報告より

編集委員会では、前号に寄稿された近況報告の中から、もう少し詳しく紹介して頂こうというコーナーを企画しました。今後も継続していく予定です。コンセプトは、①いろいろな事にチャレンジしたり、生き生きと何かされているなど、「キラッ」と輝いているもの、②思わず「ニヤッ」としてしまいそうな出来事など、③「ほんわか」ほのぼのとした出来事など、をコンセプト(基準)に選びます。

野菜作りは、春の土作りから始まります。凍った土が軟らかくなる三月、近隣の畑で耕運機の音が聞こえ、急に活気づきます。春彼岸に赤紫蘇を蒔くと父に教わり、四月末には芽が出ますが、昨年は都合で4月末に蒔いたら、十日程で芽が出てびっくり。オクラ、モロヘイヤも、四月にハウスの中でポットに蒔くと、定植するまで日数がかかるのに、地温が充分上がった5月中旬頃、直接地面に蒔くと、早く芽が出て素直にすくすく成長します。ペパーミント(翌年は蒔かなくても出る)やバジルのハーブ類も同様です。

「キラッ」

衛3回生卒 興 政子 さん
【野菜作り】

私の野菜作りは、今、寝たきりの父から受け継いで数年と未熟です。でも分かった事は、どんな作物も芽が出るまでは、水を欠かさず、成長に合わせて肥料と水やりと土寄せが大切だということです。特に、花が咲く頃は、肥料と水が必要です。急がず、時期をみて手をかけてあげるのは、子育てと同じです。



赤唐辛子



ネギ

盛夏の頃、汗をぬぐいながら、四月に苗を植えた松本一本ねぎの植え直しをします。鍋料理に入れると軟らかく甘くなります。東京に住む息子たちへ送ると、他のねぎに比べて美味しいと言ってくれます。

ねぎは、苗になるのは翌々年。秋に収穫した良い物を植えておくと、翌年6月、葱坊主ができて種ができます。これを秋に蒔いて翌春に苗として植えます。秋に蒔いた冬菜が、翌年初夏に種になり、自然にこぼれ落ちた種からすぐに芽を出すのに比べたら時間がかかります。



オクラの花

苦勞もありますが、一粒の種が成長するのを見るのは楽しみです。

畑仕事をしていると、のどかに見えるのでしょうか？散歩中の初対面の人、犬の散歩の人、近隣の人たちが声をかけてくれて話がはずみます。これも楽しみの一つです。



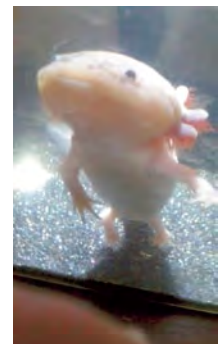
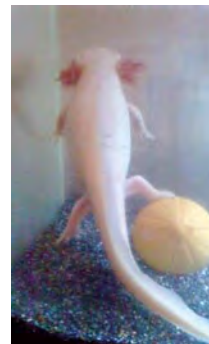
昨年の5月5日、次男が欲しくて買ってきたウーパーパー(多分メス)のみるるはすくすくと成長し、当初は5.7cmで可憐な姿でしたが、今では22cmと、しっかりサンショウウオ化しています(それも肌色の)。サンショウウオ目イモリ亜目トラフサンショウウオ(マルクチサラマンダー)科アンピストマ属なのだそうで、英名アホロートル、和名メキシコサラマンダーなのだそうです。なので、「かわいい!」と言ってくれる人と「んーちょっと…」という感想の人に分かれます。

「ほんわか」

短10回生卒 高野(清水)範子 さん
【その後のみるる】

それほど真面目に飼育していないので、エラのピラピラも貧相ですが、あまり見事に発達しても却って威厳があり過ぎてかわいくない気がするので、これ位が好みます。うまくいくと28cm位にはなるそうなのですが…。

一日中のんびりと浮かんだり泳いだり歩いたり止まって寝たりの繰返しです。仲間とか亀とか同居させたいと思ったのですが、ウーパーパーは視力が弱いので、口に触れるものは何でもかじったり食べたりするのだそうで、諦めました。でも水槽を覗くと「ハッ」と気がついて水面に浮かんで来て私の目をじっと見つめたりするので、ある程度は見えるのだと思います。



2度ほど、水中の真ん中に大の字になってプッカリ浮いたまま、5~6分程動かなかったことがあり「…死んだか?」と大騒ぎしましたが、何のことはない、10分程したらまたのんびりと動き始めました。

冷凍あかむしや粒状のえさを適当にあげて週に一回位の水替えでOKのウーパーパーは、眺めていて飽きません。癒しにお薦めです。

残念ながら、「ニヤッ」とする記事に出会えませんでした。35号では一体どんな記事に出会えるか、楽しみです。

臨嶺会会員の近況報告

衛1 岩原（大山）亮子 さん

『SPレコードと蓄音機』

退職してから11年になります。職場と家との往復だけだった私にとって、退職したときに何も知らない事に気づきとてもあせった事を思い出します。それからは機会あるごとに今もあちこちで勉強させてもらっています。この頃やっと楽しくなってきました。

子供のころ、福祉のほうへと漫然と思っていたのですが、今夫と、SPレコードと蓄音機で昔の歌謡曲を聞かせにデイサービスを訪れ、800回を過ぎました。夫の話術とレコードから流れる懐かしい曲を、皆さんとても喜んで下さいます。SPレコードの音ですので、今のご利用者さんにはいいのですが、あと5年もしたら時代に合わなくなると思います。それまでは呼んでいただける間は、頑張っけて続けたいと思います。

お次は、久保田瑞枝 さん（編集委員会推薦）

衛2 中谷（松田）洋子さん

『戴帽式』

今年も10月23日、上伊那医師会附属准看護学院の戴帽式が厳粛な雰囲気の中で行われました。暗い室内で一人一人がナースキャップをつけてもらい、ナイチンゲール像から灯りを受け取り、そのキャンドルの明かりの中でナイチンゲール誓詞を唱和しました。この整然と並んだ生徒の姿に私は深く感動しました。生徒はこの体験を基に看護師になると言う決意を新たにしたい事と思います。またこのような機会を与えられた生徒達は幸せだなあ!と感じました。現在この戴帽式を行う学校が感染症の問題から少なくなっていると聞き、寂しさを感じます。この学院で私は講義をさせてもらっています。

お次は、中山（武重）節子 さん

衛3 樋口（小谷）康子 さん

『2012年の個展』

退職して5年が経ちます。今は9歳になる孫を見守りながら家事に明け暮れる日々です。孫と一緒に歌ったり、布団を陽に干せることやゆっくり買い物することなどにささやかな喜びを感じています。

またこの10年ほどは油絵を描くことも生きがいとなっています。同窓生の方々にも個展を観に来て頂き嬉しかったです。「いのち」をテーマに抽象的表現を追求しています。2014年3月頃に甲府市内で友人と二人展を開催する予定です。



お次は、岡部（小林）和代 さん

臨嶺会会員の近況報告

衛4 平林久枝さん

『穏やかな日々』

定年退職して、駆け足の日々から一転して穏やかな日々を過ごしています。今まで、なかなか行けなかった旧友との温泉旅行に出かけたり、季節の花々を追いかけての温泉巡り・寺社巡りを楽しんでいます。

又、この頃多い天体ショーで空を見上げる時間も増えて、彗星や太陽柱等に胸を躍らせています。少しばかりの家庭菜園で身体を動かし、季節の移ろいと共に過ごしている今は全てが癒しとなっているように感じられます。

お次は、安間（中村）倫子 さん（編集委員会推薦）

衛5 垣内（加藤）桂子 さん

『サンパラスルジャイアント』

もっぱら母の介護で実家通いをしています。人は親子だから・・・と言いますが、合わないものは合わないでお互い大変です。それでもヘルパーさんやショートステイ、訪問看護、訪問診療いろいろ利用させてもらっての日々、ありがたい事です。そんなわけで私の癒やしは物言わぬ庭や木です。二百以上の鉢の水やりや虫退治に朝の時間を費やしています。

緑のカーテンにはなりません2階まで届いて夏中咲いたサンパラスルジャイアントです。来年はパッションフルーツにと思ってます。



お次は、辺（金光）夏蓮 さん（編集委員会推薦）

衛6 浅沼しず子 さん

『手作り味噌』

34年間検査技師として勤めた職場を去り、6年が経ちました。この間在職中にできなかったことを経験してみたくて、いろいろなところで首を突っ込み、「こんな所」で「こんな事をしている」自分を発見するのを楽しんでいます。そのひとつに味噌作りがあります。地区の女性達10人で遊休農地を借りて大豆を育て自分達が食べる味噌を手作りしようと始めたのが、今では加工場を作り販売までしています。真夏の日差しの中、草取りに汗を流し、仕込みの時は毎日加工場に通り、そして対面販売で笑顔を振りまいているなんて昔の私にはとても出来なかった事です。この仲間と作業の合間にお茶を呑みながらおしゃべりするのが今の私の癒やしかもしれません。

お次は 塚田浩教 さん

臨1 丸山（中平）敦子 さん

『常念岳はお御馳走』

私の働き場所は安曇野の田畑です。農家に嫁いで30年、農家のおばちゃん姿もバッチリです。気が付けば、昔私がここに来た頃盛んに農業に取り組んで居られた皆さんは殆ど引退し、委託農家が増え、我が家のような出荷生産物を栽培している農家は随分少なくなりました。農業従事者の高齢化をはじめ、農業を取り巻く様々の問題が身近な事として感じられる昨今です。そんな中、昨年12年間介護していた義父が他界したり、その前年定年を迎えた主人が大きな手術をしたり、私自身も少々ガタがきて手術を経験したりと、この3~4年は何ともしがたい大波続きの年々でした。義父の1周忌を終えた今年、少しずつ心にも余裕が生まれ、主人と二人元気に農作業のできることに感謝・感謝のこの頃です。野良仕事の合間に畔に腰を下ろして眺める大好きな常念岳は何よりのお御馳走です。さあ！もうひと息！がんばろっと！

お次は、萩原かをる さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

臨2 武舎（保科）千春 さん（甲府共立病院病理検査室） 『病理で37年』

昭和51年に卒業、就職して37年となりました。私は初めに就職した病院で今日までお世話になっています。しかも病理部門をずっと担当してきました。なので他部門の経験はほとんどなく、緊急検査に対応するくらいです。よくいえば病理ひとすじですが……。これもありがとおもいつつ、脳や体力の後退に逆らおうと、むだな努力をしています。

お次は、草間（福田）佳子 さん（編集委員会推薦）

短1 高嶋直子 さん

『マリオ ありがとう』

いつも私を癒してくれる猫のマリオを紹介します。現在16歳（人間年齢約80歳）オス ペルシャ系のMIX 白い長毛とエメラルドグリーン目の特徴。昨年12月から慢性腎不全にて週2回の点滴（皮下補液）に通院中です。

私はマリオに随分と慰められ、イライラする気持ちを落ち着かせる事が出来ました。いつかお別れの日が来るのかと考えただけで胸が痛くなります。お別れの言葉は「さよなら」ではなく「ありがとう」でしょう。

お次は 池川（降旗）美智子 さん

短2 奥村（上條）久恵 さん

『☆ありがとう』

6月、娘とふたりでヘルシンキに6泊。白夜の世界、真緑のシベリウス公園、菜の花に包まれたスオメンリンナ島、タンペレで出会ったムーミン、Marimekkoの洋服、STOCKMANNのデリ、Fazerのベリータルト。娘と過ごした贅沢な時間。元気で生きていて良かった。こんな素敵なお褒美がもらえるなんて☆

お次は、池田（北原）明子 さん



短3 浅田（百瀬）礼子 さん（長野県労働基準協会連合会松本健診所）

『長野県全域、検診車に乗って』

私は健診車に乗って、長野県全域を対象に働く人の健康を守るため、各企業に出向き健康診断を行う仕事をしています。私は心電図車の中で心電図と腹部超音波の検査をしています。大きな会社だと1日に100人くらい心電図をとったりします。また信州大学の学生さんの健康診断にも行きます。賑やかです。今の学生さんはおしゃれで見ているだけでも楽しいです。

長野県全域を健診車に乗って移動するので移りゆく季節を楽しむ事が出来ます。また、行った事のない土地へも仕事で行けたりその土地の名物を食べたりも出来て楽しいです。職場も仲がよくみんなでトレッキングに行ったりします。とても楽しい職場です。

お次は、石川（丸山）優子 さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短4 植村（上田）いずみ さん

『アタックチャンス』

昨年大病をし、現在は経過観察中。その中で考えた事『やりたい事をやる』ということ。それでアタック25に応募し出場することができました!!地中海クルーズは無理でしたが、まさかのトップ賞をとることができました!!

お次は、藤田（内川）典子 さん



短5 木元（花井）てるみ さん

『神戸マラソン』

夫の転勤に伴い尼崎に来て17年になります。翌年から新大阪にある住友生命総合健診システムという健診専門の人間ドックに再再就職し早16年をむかえています。生体検査が主な担当で正味午前2時間半で受診者100人から120人の検査をこなさなければならない毎日は、あっという間に過ぎていきます。その分午後からは子育ても一段落した私は自分の人生を楽しませてもらっています。

マラソンもその一つで今年はフルマラソンに初挑戦し地元で開催された神戸マラソンを完走してきました。



お次は、浜田（中川）美奈 さん

短6 山田 修 さん（岡崎市民病院情報管理室）

『現実逃避』

就職してから30数年経ちました。現在の職場では、仕事を忘れることが次への活気となっています。今は熱帯魚飼育（特にイソギンチャクにはまっています）とサボテン栽培（約40鉢）が中心ですが、それに必要な道具を手作りするのも楽しみの一つです。また、学会や研修会を口実に関連ショップ探しも行っています。そんな合間にふと仕事のアイデアが浮かんだりします。

お次は、垣内秀夫 さん
（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短7 三浦（倉光）みどり さん（社会保険徳山中央病院検査部 技師長）

『ひろーい心を持った人達の職場です』

来年度より勤務する病院が独立行政法人になりますが、ギリギリセーフで勤続30年リフレッシュ休暇をいただきました。ラッキー！後輩達には申し訳ないけどこの際だから許してもらおう！お土産買って帰ります。

お次は、

柳沢（小林）久美子 さん
（編集委員会推薦）



短8 高島（神谷）恵子 さん

『吹き矢』

仲間とのおしゃべりを楽しみに受講して3年。ある日、職場で言われた何気ない一言にイライラ。帰宅しても治まらず、気持ちを鎮めようと吹き矢の練習。いつにない高得点の連続。イライラはどこかへ飛んで行きました♪

お次は、野竹重幸 さん
（編集委員会推薦）



短9 榎本昭子 さん

（公益財団法人 長野県健康づくり事業団）

『BOICE仲間たち』

卒業してウン十年。今年、節目の年齢を迎えました。

ここ数年は、仕事や趣味を通じて、年齢や職業も住んでいる場所も様々な方々との出会いが増えました。そんな中、今一番の癒しは、あるバンドのファンクラブで知り合った仲間と彼らの音楽です。好きなものが同じということは、不思議なことに初対面でもそれだけで打ち解け、話が尽きません。定期的に「女子会」と称して仲間たちと会い、ライブに行くのが癒しであり楽しみです。



お次は、土屋巨美 さん

短10 木村（鈴木）美智子 さん

『介護福祉士』

卒業してもうすぐ30年。入学式が一緒だった人も卒業式が一緒だった人も、それぞれご活躍のことと思います。私はといえば、検査技師として働いたのは3年だけです。結婚をして専業主婦をしていましたが、障害者施設で働く機会があり、その経験から介護福祉士の資格を取得しました。試験は筆記と実技があります。筆記試験は、ほとんど運だけで合格したようなものです。実技はというと、YouTubeが先生代わりの、もっぱらイメージトレーニングのみで挑みました。

合格はしたものの、老体に鞭を打ち介護の仕事はできずにいます。それでもこの高齢化社会、いつか役に立つ日がくるような。

お次は、中出（川縁）美穂 さん（編集委員会推薦）

短11 大黒明美 さん

『花と向き合う』

私の今の一番の癒しは、月に一度のお花（フラワーアレンジメント）のお稽古です。華道も習った事がなかった私が、どうして習おうと思ったのかわかりませんが、もう9年程続いています。お花を習い始めて、より季節を感じるようになり、道端に咲いている何ともない草花にも目を向けるようになりました。

余談ですが、ご縁がある事に私の先生が師と仰ぐ方が松本に住んでみえます。昔は、公園通りでお花屋さんをしていましたが、今は“CAFE DE VIN Pino Pinot ピノピノ”（松本市 中央）というワインバーをされています。とても雰囲気の良いお店なので、みなさん松本に行かれた時はぜひ寄ってみてください。

お次は、山崎（橋爪）美佳 さん



短12 小須田（草間）ひろみ さん

『子ども』

早いもので、上の子がそろそろ親元を離れる年頃になりました。

私の方は、ここしばらく専業主婦をしておりましたが、昨年からは障がい者福祉の職に携わる機会に恵まれました。

主に学校が終わった放課後の時間に、子ども達と過ごしています。彼らの純粋な姿に、感動や元気をもらっています。

お次は、濱田（太田）晶子 さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短13 湯田浩司 さん（仙台市立病院 病理診断科）

『小学校で一晩』

震災から二年八ヶ月経ちました。

丁度術中迅速診断の標本を作製後に地震が襲ってきました。「ついに宮城県沖地震がきたか」と思いましたが、揺れは全く収まらず次第に強くなっていきました。しばらくして揺れが小さくなってきたと感じましたが、再び強くなってきました。それが二回繰り返したように記憶しています。

上司の判断で医師以外は帰宅、可能な者だけ翌日出勤となりました。

自宅は多賀城市のマンションの二階でした。妻のメールによると、あと20センチ波が高ければ、自宅も浸水したとありました。結局当日は自宅に帰り着けず、避難所の小学校で一晩すごしました。

お次は、中林徹雄 さん



短14 加藤美由紀 さん（伊東市民病院）

『私の職場』

初めての転職！平成24年4月より微生物検査の職場を求めて静岡県伊豆半島東海岸の伊東市民病院に勤めています。温泉が豊富に湧き200円で入浴できる施設が市内に数箇所あります。伊豆急線で通勤しています。一時間に3本の列車はハトヤの脇を走り相模湾が綺麗に見えます。お休みの日は観光客でいっぱいです。

院内ではマラソンがさかんで毎年1月に行われる「伊東オレンジビーチマラソン」に参加しています。今年は初めて参加させて頂き楽しかったです。

職員旅行があり、ディズニーランドに行ってきました。アットホームな感じの病院と検査室です。仲間みんなのお陰で毎日楽しく過ごしています。まだまだ若者に混じって、頑張らなければなりません！

お次は、福田（伊奈）由紀子 さん



伊東オレンジビーチマラソンにて

短15 宮原（奥野）ゆきえ さん

『ウォーキング』

結婚後に仕事を辞め、どっぷり専業主婦生活を送っていました。しかし子どもがだいぶ手が離れ、自分の時間が持てるようになったのを機に、3年前から臨床検査技師として働き始めました。以前の職場もやりがいのあるところでしたが、17年ぶりの新しい職場は以前のところとは環境も専門分野も違いとても新鮮で楽しいです。とはいえ、仕事と家事の両立は結構大変です。そんな私の癒しというか、ストレス発散は、週一回一時間半ほどのウォーキングです。近所友達とおしゃべりをしながら歩くのはとても楽しく気分爽快です。でも毎回コーヒーショップに寄り道し、さらに一時間以上トーク。これじゃ、痩せませんね（汗）。

お次は、長田裕之 さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短16 岩永（山崎）あゆみ さん

『信州の味』

卒業して20年あまり、短大時代の友人と会う機会も少なくなり、毎年会報が届くたび、皆様のご活躍に感心するばかりです。

私はここ数年、季節の保存漬けを作っています。春の山菜に始まり、梅雨時の梅、夏野菜の福神漬け、11月に入ると、手ごろな大根や野沢菜を求めて産直市場へ足を運ぶのが楽しみになっています。我流で試行錯誤しているので、その都度出来栄は違いますが、なんとか自分の味ができてきました。

保存漬けは年一回のことなので、20年漬けられても20回しか漬けられません。これからあと何回、満足のいくものができるかと思っています。

お次は、前（山口）博子 さん

短17 橋本（市川）裕美 さん（島田市民病院 臨床検査室）

『育てることの大変さ』

昨年夏、卒後20年の節目に同窓会があり参加させて頂きました。20年経ってもあまり変わらない友人達の姿に少しほっとした事を覚えています。仕事や日々の生活に追われあっという間の20年で、今もなおその環境は変わりませんが、家族や周りの方々に助けて頂き何とか続けていくことができ感謝しています。検査技師としての仕事の大半は病理検査に携わってきました。手術材料の切り出しから細胞診断など臓器や細胞と向き合う毎日です。長年同じ環境、同じ顔ぶれで働いてきましたが、諸先輩方が退き始め、育ててもらった立場から育てる立場へと…職場でも家庭でも“育てる”ことの大変さを痛感する毎日です。人を育てることに教科書もマニュアルもありません。一緒に悩み、苦しみ、時に温かく見守ってあげ共に成長することですかね。体力、気力の衰えは加速していますが微力ながらもあと20年がんばってみようかなと思う今日この頃です。

お次は、佐藤卓也 さん

短18 藤本（本田）千恵子 さん

『屈託のない笑顔』

大変ご無沙汰していますが、皆様お元気でしょうか？私たち18回卒業生は毎年同窓会を開催しており、その度友人との近況報告ができていたのですが、いつを最後にだったか同窓会で集まることもなくなり少々寂しく思っているのは私だけでしょうか？そろそろ集まりたいものですね。

私は卒業後、検査技師以外の仕事に就いていたこともありましたが、現在はまた検査技師として働いています。現在の職場では超音波検査を担当しています。と言っても職場は整形外科単科のクリニックなので、整形外科分野のエコーのみで、運動器系エコー、関節エコー、下肢静脈エコー等です。この中でも近年リウマチ診療において注目されている関節エコーにおいては、当クリニックでも力を入れている項目で、私自身もスキルアップのために多くのセミナーでトレーニングを積んでいます。

そんな私も今年の4月に第一子を出産し現在育休中。この歳で母親となり初めて感じること、学ぶこととてもたくさんあります。今までの自分中心だった生活も一変して、今は我が子最優先の生活で、育児、家事に没頭する毎日。寝不足でも、疲れてクタクタになっても、我が子の屈託のない笑顔に日々癒され穏やかな幸せな日々を送っています。来春仕事復帰の予定です。我が子がすくすく育ってくれているだけで私は勇気付けられ励まされ、この先のずっと私の癒しとなるでしょう。

お次は、清野（山本）貴子 さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短19 土井（森）敦子 さん

『我が子』

今、愛知県で専業主婦をしている私の癒しであり、原動力は5歳の娘と10月に生まれた息子です。体力的にはかなり辛いお年頃ですが、彼女らのおかげで楽しい毎日を送っております。

お次は、高松（山田）知恵 さん
（編集委員会推薦）



短20 大月（高山）利香 さん
（松本市立病院）

『私の癒やし』

卒業して18年。今は自宅から徒歩で5分の病院に勤務しています。私の癒やしは家族、娘達と過ごす時間です。仕事で疲れて家に帰っても、娘達の笑顔や無邪気な寝顔を見ると、また明日も頑張ろうという気持ちになります。

お次は、山田美佳 さん



短21 長井 円 さん

『ほほえみの国Thaiの象ちゃん』

旅は自分への投資と銘打って、夏休みには時々アジアを旅しています。最近タイに行ってきました。アユタヤ遺跡の素晴らしさもさることながら、子象たちの芸達者でかわいいこと！象と遊んで癒されました。

お次は、中安（中坪）香代子 さん
（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短22 中澤（峯村）由貴 さん

『成長が楽しみ！』

私には、5歳の男子と2歳の女子がいます。2人とも、とても活発で元気なのは良いのですが、買い物など外に出掛けると、いなくなってしまうのは困りものです。2人とも、仲良く成長してほしいです。

お次は、東谷（永田）真由美 さん



短23 畠山（松澤）章江 さん（長野中央病院）

『年に一度はディズニーリゾートに』

臨床検査技師の資格を取得し14年。現在まで長野中央病院で化学免疫系から始まり、ほぼ全てを経験、超音波検査全般・神経生理検査中心に働いています。救急室や手術室など現場支援もあり多忙ですが、検査室は雰囲気良く、先輩方・後輩達に刺激され楽しく仕事しています。

子育てしながらの生活に追われる毎日ですが、年に一度はディズニーリゾートに行きます。この冬から3度目の産休、一年間の休暇を取り復帰予定です。

お次は、宮崎初美 さん
（編集委員会推薦）



短24 長谷川登志美 さん

『何もしない贅沢』

皆様、昨年瀬戸内の島々で芸術祭が行われていたことをご存知ですか？アートとともに「島の爺っちゃん婆っちゃん的笑顔を見よう！」がコンセプト。島独特のゆったりと流れる時間と島の人々の笑顔に癒されながら、自然の中で五感をフル開放！！美術館をはじめとする一部施設と島の人々の笑顔は、会期が終わっても健在です。長野とは違った海辺の癒し、皆様もいかがでしょうか？

お次は、赤羽（船木）圭美 さん
（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短25 安江香里 さん

『ヨガ』

卒業後、松本（安曇野）で仕事をしていたが、結婚、出産を機に岐阜へ戻りました。現在、7歳の長女と4歳の長男、旦那、父、母とにぎやかにすごしています。

私は2年前より、地元の病院で、検査科の業務を補佐することもあります。クラーク業務を主として外来科で勤務しております。

家事、育児、仕事と毎日慌ただしく、こなしていますが、最近の私の癒し（ストレス発散）は「ヨガ」です。スクールにまだ通い始めたばかりですが、ヨガをしている間の「無」の感じが何とも言えず。ヨガをして、心と体がリセットされて・・・これが今の私の癒し（楽しみ）です。

お次は、内藤（吉田）恵子 さん



短26 藤森（河井）玲子 さん（諏訪赤十字病院）

『仕事は宝物』

医短を卒業後、四年制大学へ編入学をしました。その為、同期の皆さんより少し短いですが就職して10年を迎えました。

振り返ると仕事に就いて5年目からやっと仕事にやりがいを感じるようになり、10年を迎えた今、仕事が楽しく思います。仕事は宝ですね!!加えて、学び続けることができる環境や職場の上司、同僚や後輩にも恵まれ、とても幸せだと感じます!

これからもずっと仕事を続けて行きたいと思います。今に至る礎を築くことが出来た医短の3年間に感謝しています。ありがとうございました!!

お次は、河口裕美 さん（編集委員会推薦）

短27 中村（三浦）由美子 さん

『男の子を出産』

今年の5月に男の子を出産しました。楽しみにしていたマタニティライフでしたが、入退院のくりかえし。つくづく妊娠出産は大変な事なんだなと実感させられました。結局予定日より1ヶ月早く生まれてきた息子ですが、すくすくと順調に成長してくれています。育児は想像していたより大変ですが、子供の笑顔はそんなことも吹き飛ばしてくれます。

4月から務めていた眼科へ職場復帰する予定です。育児に家事に仕事にと両立出来るのか不安はありますが、できるところまで頑張ってみようと思っています。

お次は、只（武藤）博美 さん
（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短28 岩佐（赤羽）優夏 さん
（医療法人社団 筑波記念会）

『息子の笑顔』

卒業してから早くも10年になります。私は長男を出産し、現在育児休業中です。慣れない育児に悪戦苦闘の毎日ですが、時折みせてくれる屈託ない息子の笑顔に癒され日々頑張っています。

お次は、瀬尾（磯村）智子 さん



短29 小林麻衣子 さん
（東京女子医科大学病院）

『私の職場』

卒業後、私は東京女子医大病院に就職し、6年間附属の小規模病院で内視鏡介助メインに健康診断で行う生理機能検査を幅広く経験し、今年から本院の心電図室に異動をしました。毎日外来で300人を超える心電図をとり、ホルター解析を行う循環器機能検査を担当しています。どちらの職場も忙しくあっという間に7年間が過ぎ去ろうとしています。大学時代に思い描いていた臨床検査技師像とは少し違って、日々多くの患者と会話をし、看護師や医師とも関わる環境で、入職時はとても戸惑いましたが、今では色々な人とコミュニケーションがとれる事を楽しく思い、向上心の高いみんなと心臓について勉強しながら働ける職場でとても充実した毎日を送っています。



お次は、加藤陽子 さん

保1 古家充賀 さん（伊賀市立上野総合市民病院 臨床検査課）

『まだ一番若手』

働き出してから1年はとても早いと聞かされてきましたが、まさにその通りですね、卒業してから7年とか。思い返すと確かに7年経っていますね。自分も少しは成長したでしょうか。今は細菌検査をメインに仕事をしています。学生時代、一番苦手としていた科目です。人生そんなもんです。

うちの検査室は人の入れ替わりが少なく、未だに新人が入ってきません。卒業して7年、まだ一番若手です。何事も人に教えられるようになって一人前と思っています。まだまだ半人前の域を出られそうにありません。

当院にも電子カルテが導入されることになりました。ルーチンの傍ら準備、設定等、病院中でんやわんやです。稼働後はさらに問題が洗い出されるであろうことを考えると胃が痛くなります。業者さんが一番大変そうだ。

お次は、渡邊正博 さん

臨嶺会会員の近況報告

保2 安孫子ユミ さん
(筑波大学医学医療系環境生物学研究室)

『work hard, play hard』

私の職場は、環境中化学物質による蛋白質への翻訳後修飾の意義とその細胞内制御系の解明に取り組んでいます。成果を要求され研究に追われるなか、休日にはハイキングに行くなど、仕事と趣味の両立を心がけています。

お次は、市川達也 さん
(編集委員会推薦)



保3 後藤孝文 さん
(公益財団法人丹後中央病院)

『さざなみ』

私は地元である京都府京丹後市久美浜町へ戻り、病院に勤めています。家のすぐ目の前には久美浜湾という海が広がり、玄関出て10歩で海沿いへ出られます。仕事から帰宅し、久美浜湾に沈む夕陽を見るのが私の楽しみです。

お次は、金城浩和 さん
(編集委員会推薦)



保4 藤井義也 さん

『結婚しました』

大学を卒業してもう4年ですか。早いものですね。みなさんお久しぶりです。今は松本市で臨床工学技士として透析の仕事をしています。

昨年は結婚したこともあり、多忙な1年でした。9月23日に挙式をして、10月6日にレストランパーティーを行いました。写真は10月6日のパーティーの写真です。

そろそろ同級会でも開きませんか？
仕事も4年目で落ち着いてきた頃なので、みんなの話が聞きたいです。
ではまた会いましょう。

お次は、山内淳平 さん



臨嶺会会員の近況報告

保5 持田智之 さん
(東京大学医学部附属病院)

『入職3年目』

脳波・筋電図・病棟検査を担当しています。術中モニタリングや脳死判定など責任重大で緊張する場面が多い反面、赤ちゃんの検査ではとても癒されています。

同級生の玉宜君と同じ職場で毎日楽しく過ごしています。

お次は、市川尚子 さん



保6 芦田静香 さん

『病理診断科部に配属』

大学を卒業して、いつの間にか今年で社会人3年目に突入します。社会人生活にも慣れてきてしまっていて、出勤はギリギリ、寝坊してタクシーで出勤、お酒を飲みすぎて次の日、、、。様々なことをしてしまっていますが、毎日、一生懸命働いているつもりです。

現在、病理診断科部に配属されて、病理・解剖・細胞診の仕事をしています。実技面は社会人になってから身に付けないといけません、知識面は学生の頃に学んだことが様々な場面で大変役に立っていますので、学生の頃は勉強に励んで下さい。

お次は、上村美華子 さん(編集委員会推薦)

保7 池田み奈美 さん

『自然の力を沢山吸収』

私の癒しは外へ出て思い切りはしゃぐ事だ。普段は研究室で一人細胞と会話する日々を送っているが、休日となれば友人と海や山を駆け巡る。そうして自然の力を沢山吸収し、それを又細胞に注ぐという日々を送っている。



お次は、宮部知佳 さん



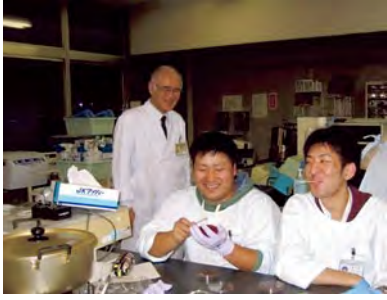
臨嶺会員の皆様、ありがとうございました！

1969年4月、信州大学医学部附属衛生検査技師学校入学以来、今日までの40数年間を、私はここ旭（町）キャンパスで過ごしました。当時、細かった木々も太くなりました。実験用犬の鳴き声の大合唱に悩まされた当時の木造オンボロ学舎は、遙か昔に取り壊され信州大学に於ける「臨床検査技師教育発祥の地」を偲ぶものは何もありません。私は臨床細菌検査を中心に臨床検査学の進展を具（つぶさ）に見てきました。検査部技師長から医療短大助教授に転出してからは、保健学科、そして大学院にまで発展した母校と共に歩んできました。

今、振り返ってみると、臨嶺会を立ち上げたこと、そして新たに作った保健学科同窓会をここまで牽引してこれたことは、私にとって大きな思い出です。

夢のある臨床検査技師の将来を語れるような、そしてこれからの高校生が目指したい憧れの職種として位置づけてくれるような、そんな臨床検査の未来を創造する後進が本学の卒業生から続々と輩出されることを願いながらいつまでも見守っていきます。





皆さんが応援して下さいましたから、何とか此処まで辿り着くことが出来ました。これまで本当に有り難うございました。心から感謝申し上げます。

こじ記

～松本の魅力を求めて三千歩～

お久しぶりです。『こじ記』も6回目を迎えました。私は今年の春で松本に住み始めて10年が経過致しました。名の知れた店なら大抵は行ったことがあるぞという気持ちでいたのですが、、、なんと恥ずかしながら今回は初めて足を運んだお店の紹介となります。



“モカパフェといえば『珈琲美学アベ』の代名詞”
 ともとれるほど有名なメニューがこのお店には存在することを皆さんご存知でしょうか。なぜ有名なのだろかと思っていたのですが、注文をしてみたら一目瞭然でした。そうです。まず、とにかく大きい！！大きいだけかと思いきや、食べてみたらほのかに苦みのあるモカアイスと甘さ控えめのバニラアイスとの絶妙な味わい、それらをしのぐコーヒーゼリーが美味しいこと！このパフェが有名なのは見た目のインパクトはもちろん、それに勝るほどの美味しさもあるからなのだ実感しました。

『珈琲美学 アベ』

珈琲美学アベは昭和32年に開店した老舗喫茶店で、現在は2代目店主のもと昔から変わらぬ手法で美味しいコーヒーを提供して下さいのお店です。このお店のナプキンにももしろい文章が載っています。

“水ばかり飲んでコーヒーも飲まないなんて……

人生に生きがいがあるだろうか 疲れをいやす一時に、

悪魔のように黒く恋のように甘いコーヒーを!!”



最後は衝撃的なフレーズですよね。皆さんも自慢のコーヒーを是非感じて下さい。他にもサンドウィッチやトーストといった美味しいメニューが色々ありますのでお楽しみに。



カミングホーム

昭和48年卒業した衛検6回生の仲間は、昨年9月28日（土）に松本城近くの「ホテル花月」で、カミングホームデーを開催しました。私たちのクラスは20名で卒業しましたが、既に2名の方が他界し、1名が音信不通となっている状況での開催でした。それでも全員が還暦を迎えた節目ということもあり、予期していなかった突然の呼びかけに半数以上の方が出席しました。

ホテルのロビーに三々五々集まってきて顔を合わす瞬間は、お互いに少し緊張した面持ちの紳士淑女たちの再会風景でした。宴席では当時のアルバムを回し見しながら、講義や実習でお世話になった先生方一人ひとりのこと、遠足のこと、須砂渡キャンプ～蝶ヶ岳登山のこと、恒例のクリスマスコンパのこと、医学科合同の運動会のこと等々、昔にタイムスリップして懐かしみました。さらに、互いを知ることのなかった40年間の人生や、味噌作りのこと、ハウスでの花作りのこと、ガーデニングのこと、植物防疫会社での仕事のこと、旅館経営のこと等々、お酒そっちのけで語りました。

今回は、残念ながら親御さんの介護の都合で欠席された方が何人かいました。別れ際には次回は全員が出席して再会できることを願って散会しました。今回のカミングホームデーで感じたことは、同じ時間と空間を共有したことのおかげでした。



衛検6回生
羽山 正義



短大7回生
太田（三石）悦子

「子育てもひと段落してきたし、卒業して30年だから、全員に声を掛けて同級会をしたいね!」と話していたところ、カミングホームデーの補助金も頂けるということで、6月に幹事3人が集まり計画を立て、11月23、24日に美ヶ原温泉ホテルニューことぶきにて同級会を開きました。

当日は、17名も（遠くは大分や山口から）集まってくれました。「20～30年ぶりに会うけど分かるかな～?」などという心配は、会った途端に消えて、一気に学生時代に戻りました。宴会はもちろん、宴会後も一つの部屋に集まり、近況報告や昔話に花が咲きました。学生時代の思い出は、一人一人印象深い事が違っているようで、色々なエピソードが話されるたびに、「そういえば思い出した!」とか「え～そんなことがあったんだ!」と、とても面白く盛り上がりました。翌日は、アルプス公園に出かけましたが、天気も良く美しい北アルプスを見ることが出来ました。あつという間の二日間で、名残惜しく、「来年も同じ場所でやろうね! 再来年は鎌倉だよ!」と、幹事も決めて再会を約束し別れました。

今回はご都合が悪く出席頂けなかった担任の吉田先生や同級生にも、来年は是非参加して欲しいなと思っています。

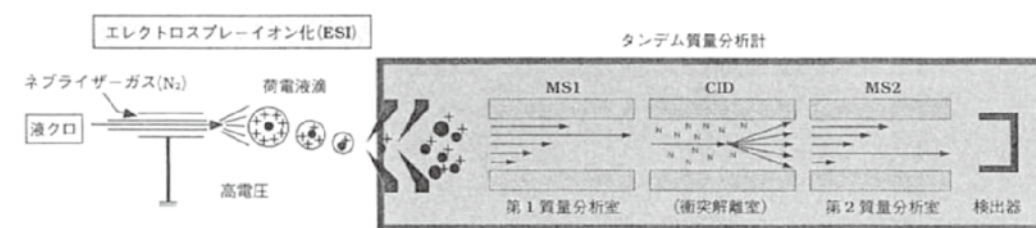
それにしても、3年間毎日一緒に過ごした仲間の居心地の良いこと!! 同級生って本当にいいな! と思ったのでした。

最近の検査

長野県における新生児の先天性代謝異常等検査 ～タンデムマス法が導入されました～ 長野県立こども病院より

県立こども病院では、長野県から委託されて平成25年10月1日生まれの赤ちゃんからタンデムマス法を用いた先天性代謝異常等検査を始めました。これまでは、検査の対象となる疾患は6つ（フェニルケトン尿症、ホモシスチン尿症、メープルシロップ尿症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成、ガラクトース血症）でしたが、タンデムマス法の導入により、タンデムマスで解析可能な16疾患（アミノ酸代謝異常5疾患、有機酸代謝異常7疾患、脂肪酸代謝異常4疾患）と、従来から行われている先天性甲状腺機能低下症（ELISA法）、先天性副腎過形成（ELISA法）、ガラクトース血症（酵素法）の3疾患を合わせて19疾患の検査を行うようになりました。

タンデムマスとは、タンデム・マススペクトロメーターの略称です。「タンデム」とは、「直列に2つ並んでいる」という意味で、「マス」とは「質量」を意味します。よって「タンデムマス」とは、質量分析計が2つ直列に配置された分析計のことです。図に示すように、第1、第2質量分析室があり、その間に衝突解離室があります。第1質量分析室では元の粒子が、第2質量分析室では断片化された後の粒子が測定されます。それぞれ測定されたイオン質量数とイオン強度の組み合わせで、化合物の同定と定量が行われます。先天性代謝異常等検査では、微量の血液で血中のアミノ酸やアシルカルニチンを測定します。こども病院では、(株)島津製作所のLCMS-8040を導入して検査しています。



タンデムマス法の概念図

(タンデムマス・スクリーニングガイドブックより引用)



LCMS-8040 (株)島津製作所

タンデムマスの検査の流れは次の通りです。現行のスクリーニングと同じ血液ろ紙を直径3mmの大きさに切り抜き、抽出液を入れて抽出します。この試料をマイクロプレートに移し、オートサンプラーにセット、スタートします。1検体あたりの分析時間は1～2分です。機器ごとに測定値が異なるためカットオフ値をどのくらいにするかを施設ごとに検討しなくてはならないし、毎日の精度管理や機器のメンテナンスをきちんとしなければなりません。

従来からの3疾患と、タンデムマスによる16疾患を合わせた検査で、長野県で生まれた赤ちゃんの病気を早期に見つけて、発病させないように、また、障害発生を予防していけるように微力ながら貢献できればと思っています。

(短11 喜多村(三澤)尚子)

松本便り



北校舎の北東に建設中



東門から見下ろした風景です。北校舎の北東側の駐輪場と駐車場だったところに「地域保健推進センター」という名称の建物を作っています。

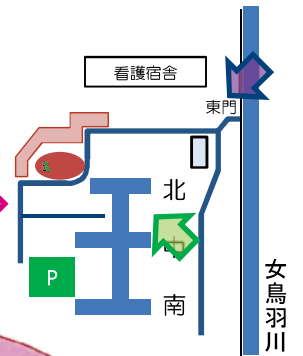
校舎が真っ白に・・・



くすんだ茶色とクリーム色の2カラーだった校舎が真っ白に塗り替えられています。中校舎と北校舎の通路はまだ塗り替え中のようです。

北校舎周りの現在

北校舎の耐震改修工事が始まり、北校舎の機能は旭総合研究棟に移っています。北校舎の周辺の現状を報告します。



以前の保育園は解体されて、北校舎の北西側のテニスコートだったところに「おひさま保育園」という新しい保育園ができました。平成25年11月6日に開園しました。木造1階建て、生後8週後から4歳未満の児を預かり、定員は60名から90名に増えたそうです。

信州大学
おひさま保育園



施設の南側に園庭が広がっています。北校舎に近いので授業中は子ども達の遊ぶ声が聞こえてきそうです。



北校舎とその周辺は、現在、大規模な工事が行われており、3月頃に竣工します。夏頃から中校舎の工事が始まります。お近くにお越しになった際は、是非お立ち寄りください。

卒業生の進路



保健学科8期生 卒業生40名（H26年3月卒業） H26年2月10日現在（ ）内人数

就職：31名

信州大学医学部附属病院(1)、松本市立病院(1)、長野中央病院(1)、JA長野厚生連佐久総合病院(1)、市立甲府病院(1)、新潟県職(1)、前橋赤十字病院(1)、東京都立病院(1)、国立病院機構関東信越ブロック(1)、東千葉メディカルセンター(1)、亀田総合病院(1)、ひたち医療センター(1)、JA愛知厚生連豊田厚生病院(1)、JA愛知厚生連江南厚生病院(1)、JA愛知厚生連安城厚生病院(1)、一宮市立市民病院(1)、磐田メイツ睡眠障害治療クリニック(1)、市立恵那病院(1)、ぎふ総合健診センター(1)、JA岐阜厚生連病院(1)、JA三重厚生連病院(1)、松坂市民病院(1)、国立病院機構東海北陸ブロック(2)、国立循環器病研究センター病院(1)、大阪市立病院(1)、神戸市民病院機構(1)、国立病院機構京都医療センター(1)、第二岡本総合病院(1)、宮崎県立病院機構(1)、テレビ信州(1)

大学院進学：6名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)(5)、神戸大学大学院農学研究科資源生命科学専攻(博士前期課程)(1)

大学院医学系研究科博士前期課程保健学専攻6期生 修了生3名（内社会人1名）

就職：2名

山梨大学医学部附属病院(1)、日本新薬株式会社(1)

大学院医学系研究科後期課程保健学専攻3期生 修了生3名（内社会人3）

事務局からのお知らせ

カミングホーム

平成26年の該当は次のとおりです。

卒後10年：短大29回生（平成17年3月卒）

卒後20年：短大19回生（平成7年3月卒）

卒後30年：短大9回生（昭和60年3月卒）

卒後40年：臨検1回生（昭和50年3月卒）

臨検会として補助、協力（例えば構内見学など）をいたしますので、同級会を開催し旧交を温めてください。

すでにカミングホームの該当年を迎えられ、これから同級会を開催する学年につきましても補助をしますのでご連絡ください。

卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。詳細は「信州大学医学部」ホームページの「卒業生の方へ」の「卒業証明書発行について」をご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/alumni/certificate.html>

会費未納の方へ

臨検会は皆様の会費により運営されております。平成25年春の第34号までは会費未納の方には未納金額のお知らせを同封していましたが、今からは同封いたしません。

未納の方は下記振込先への納入にご協力ください。また、カミングホームなどの際に納入のお願いをさせていただきます。

振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨検会」

なお、保健学科卒業生は保健学科同窓会に納入ください。

事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

2013年のできごと

- 2月13日(水) 接遇対策セミナー（3年生対象、臨嶺会として支援）
 - 3月21日(木) 信大松本地区卒業式・学位記授与式
 - 4月 4日(木) 信大入学式
 - 11月20日(水) 就職・進学支援セミナー（2・3年生対象、臨嶺会として支援）
- 講師：今井 律子さん（西知多医療厚生組合東海市民病院 短大4回生）
 加藤 亮介さん（JA長野厚生連佐久総合病院 保3期生）
 長田 友紀さん（株式会社エシック 保4期生）
 實原 正明さん（飯田市立病院）



編集後記

第31号から始まった同窓生全員が参加できる近況報告。今回で5年目になりますが、昨年にも増して写真掲載が増えて来た事大変嬉しく思います。そんな写真と記事を見ていると、「キラッ」と輝くような人生を送られている方、思わず「ニヤッ」としてしまうような出来事に遭遇する方、原稿のテーマでもある「ほんわか」ほのぼのした癒しの源となっている事等々、非常に興味深い記事を目にします。今回、そんな記事を取り上げ、その後の状況であったり、ノウハウであったり、400字程度では表現しきれなかった詳しい内容を紹介していただくという企画を特集の1つにする試みを行いました。この企画、しばらく続けていきたいと考えております。皆さんからの楽しい記事をお待ちしております。

初代臨嶺会会長であります川上由行先生が、今年度をもって定年退職されます。長年にわたる御精勤、本当にお疲れ様でした。一つの節目ですが、第二の人生の始まりです。今後、一層御自愛なされ、元気で過ごされる事、心よりお祈りいたします。

最後に私事。昨年（H25）12月23日に上演されました第4回まつもと市民オペラ、ビゼー作曲「カルメン」（全4幕日本語公演）にお越しくございました同窓生に厚く御礼申し上げます。

編集委員会では、常時、特集記事を募っております。何か興味深いことがありましたら、是非ご一報ください。お待ちしております。

(2014.02.05 石川伸介)

臨嶺会会報 第35号

臨嶺会会長	奥 村 伸 生
事務局	寺 澤 文 子
	小 穴 こず枝
	亀 子 文 子
編集委員会	石 川 伸 介
	川 崎 健 治
	重 藤 聖 子
	沖 村 幸 枝
編集協力	赤 羽 昌 子
	小 嶋 俊 介

印刷 株式会社ブラルト

臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387 (ダイヤルイン)

Fax. 0263-37-2370 (保健学科事務部)

e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp

臨嶺会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>